

全建発第5-101号
令和5年7月26日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公印省略)

第696回建設技術講習会 (Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用)
開催のご案内について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記建設技術講習会を別紙のとおり開催いたします。

本建設技術講習会では、コロナ後の建設行政と公務員技術者、i-ConstructionからインフラDXへ、AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来、建設業界で進む生産性向上策への考え方とデバイスの上質な活用方法、i-Constructionをリードするモデル事務所の取組、ICT普及促進と3次元データ活用の取組、インフラ分野のDXに向けたAI・ロボット等新技術導入などについて学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

| |
|--|
| (一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com |
|--|

全建発第5-102号
令和5年7月26日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第696回建設技術講習会 (Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用) 開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会の講習会は、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向とi-Constructionの取組など、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第696回建設技術講習会では、コロナ後の建設行政と公務員技術者、i-ConstructionからインフラDXへ、AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来、建設業界で進む生産性向上策への考え方とデバイスの上手な活用方法、i-Constructionをリードするモデル事務所の取組、ICT普及促進と3次元データ活用の取組、インフラ分野のDXに向けたAI・ロボット等新技術導入などについて学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴機関職員が参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

第696回建設技術講習会のポイント



技術革新の加速化により 建設事業の未来が変わる！

○開催日：令和5年10月4日（水）～6日（金）

○開催場所：鳥取県鳥取市

○テーマ：Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用

○主な講義内容

- ・（公社）土木学会 谷口博昭元会長が語る「コロナ後の建設行政と公務員技術者（仮）」
- ・インフラDXについて、国土交通本省の講師が解説！
- ・昨年度好評の東京大学 ^{ちよん}全特任准教授が講演！「AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来（仮）」

○現場研修

- ・日本初の工法を採用！日本最長の城郭復元木造橋 史跡鳥取城跡大手登城路復元整備事業 [鳥取市]
- ・ICT建機の操作と技術を実践的に学べる建設技術実証フィールドを整備！
鳥取イノベーション実証フィールド整備工事 [鳥取県]
- ・i-Construction推進に向け、工事に様々な3次元データを活用！

国道9号北条道路北条高架橋第3・第4PC上部工事 [中国地整]

第696回建設技術講習会 (Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用) 概要 ～i-Constructionの推進とICT等の新技術を活用した生産性向上の取組について学ぶ～

会場 …… とりぎん文化会館 (小ホール)

〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5 TEL0857-21-8700(代)

| (1日目) | 開場11:40 | 令和5年10月4日(水) | (敬称略) |
|---|---|--|----------------|
| 12:40 } | あいさつ | 鳥取県知事 | 平井 伸治 |
| 13:00 | | 鳥取市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事 | 深澤 義彦 若林 伸幸 |
| 13:00 } | コロナ後の建設行政と公務員技術者 | (公社)土木学会 元会長 | 谷口 博昭 |
| 14:30 | | 芝浦工業大学客員教授 (一財)建設業技術者センター 理事長 | |
| 14:40 } | i-ConstructionからインフラDXへ | 国土交通省大臣官房技術調査課課長補佐 | 大谷 彬 |
| 15:40 | | | |
| 15:50 } | AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来 | 東京大学大学院特任准教授 | 全 邦 針 |
| 16:50 | | | |
| 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞(18:00～19:30) | | 鳥取ワシントンホテルプラザ 2階「ダイヤモンドホール」TEL 076-233-1311 | |
| (2日目) | 開場 9:00 | 10月5日(木) | (敬称略) |
| 9:40 } | 建設業界で進む、生産性向上策への考え方とデバイスの上手な活用方法 | (一社)日本建設業連合会 インフラ再生委員会技術部会委員 | 杉浦 伸哉 |
| 10:40 | | | |
| 10:50 } | i-Constructionをリードするモデル事務所の取組 | 国土交通省中国地方整備局山陰西部国道事務所 副所長 | 高崎 修 |
| 11:50 | | | |
| 13:00 } | 鳥取県における担い手確保・育成と建設DXの取組み | 鳥取県県土整備部技術企画課参事 | 日笠 雄吾 |
| 14:00 | | | |
| 14:10 } | 【地域事業の紹介①】 国道9号北条道路北条高架橋第3・第4PC上部工事 ～BIM/CIMの4Dモデルを1つの空間に統合し共有する試み～ | 国土交通省倉吉河川国道事務所副所長 | 平西 邦裕 |
| 14:30 | | | |
| 14:30 } | 【地域事業の紹介②】 史跡鳥取城跡大手登城路復元整備事業 ～擬宝珠橋と中ノ御門(大手門)の復元について～ | 鳥取市教育委員会文化財課文化財専門員 | 細田 隆博 |
| 14:50 | | | |
| 14:50 } | 【地域事業の紹介③】 岩美海岸グリーンレーザ計測について | 鳥取県県土整備部河川課課長補佐 | 大坪 亮太 |
| 15:10 | | | |
| 15:20 } | インフラ分野のDXの実現に向けた建設施工の自動化・遠隔化の取組について | 国土交通省大臣官房参事官(イノベーショングループ) 施工企画室課長補佐 | 吉田 真人 |
| 16:20 | | | |
| 16:20 } | 閉会のあいさつ | 鳥取県県土整備部長 | 小田原 聡志 |
| (3日目) | 集合(乗車) 8:10 | 10月6日(金) | 【現場研修】 |

鳥取駅南口(8:30) 出発

- 史跡鳥取城跡大手登城路復元整備事業 [鳥取市] → 鳥取イノベーション実証フィールド整備工事 [鳥取県]
- 昼食(鳥取市内) → 国道9号北条道路北条高架橋第3・第4PC上部工事 [中国地整]
- JR倉吉駅(15:00) / 鳥取空港(15:50) / JR鳥取駅(16:20) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
 ※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第696回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 史跡鳥取城跡大手登城路復元整備事業 [鳥取市]

…………… 鳥取県鳥取市

- ・鳥取市の中心市街地に位置する鳥取城跡は、鳥取の歴史を伝える重要な史跡であり、市民の心の拠り所である。かねてより復元を求める声が多く、鳥取市は30年にわたり保存整備計画を立案した。
- ・その第一段階となる大手登城路復元整備が実施されており、大手橋であった擬宝珠橋と、大手門であった中ノ御門の表門が完成済みで、現在、中ノ御門渡櫓門を復元施工中である。
- ・擬宝珠橋は、現地の橋脚遺構保護を目的に既設コンクリート橋の基礎を活用し、ステンレス製の水中梁と木橋のハイブリッド構造で整備した。また、中ノ御門(大手門)は、近代以降に失われた排水路を再現したのち、三次元モデルを参考に古写真との照合により考察を深め整備した。



2 鳥取イノベーション実証フィールド整備工事 [鳥取県]

…………… 鳥取県鳥取市

- ・鳥取県では、ICT活用工事を推進するため、ICT建機を実際に操作しながら必要な技術を実践的に学べる新技術検証フィールドを鳥取大学乾燥地研究センター敷地内に整備した。
- ・本フィールドは、ICT活用工事の研修フィールドとして活用するほか、橋梁点検などのインフラ維持管理において活用可能な新技術の実証フィールドとしての活用も検討している。
- ・県の基幹産業である建設産業について、先進技術の導入による生産体制の革新とそれを担う人材育成及び生産性の向上を目指す企業支援を行う。



3 国道9号北条道路北条高架橋第3・第4PC上部工事 [中国地整] …………… 鳥取県東伯郡北栄町

- ・北条道路は、鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬から東伯郡琴浦町槻下を結ぶ延長13.5kmの自動車専用道路。鳥取県内最後の山陰道整備区間として現在整備が進められている。
- ・本道路の整備によって、交通の適正な機能分担による安全性の向上、観光周遊ルート拡大による観光地の活性化や企業進出の促進が期待されている。
- ・i-Construction推進に向けて、現在工事が進んでいる北条高架橋上部工においても、隣接する2工事間でCIMの4Dモデルを統合し共有することにより、工事間調整に活用する試行を行うなど、様々な3次元データの活用に取り組んでいる。



第696回建設技術講習会【聴講】の申込みについて

【聴講の申込み】

1. 申込み手続き

申込み時に次の手続きが必要になります。

- ① 申込書の送付
- ② 聴講料の振込
- ③ 現場研修料の振込（現場研修に参加する場合のみ）

2. 申込み方法

① 申込書の送付

申込書に必要な事項を入力し、次の送付先アドレスにメールで送付して下さい。

なお、聴講料等〔下記②及び③〕は、受付確認のメール受信後から開催前日までの間にお振り込みをしていただくようお願いいたします。

※振り込み後、銀行振込の控え等を送付先アドレスに送付してください。

送付先アドレス nishitetsu@zenken.com （メールアドレスにご注意ください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、西鉄旅行（株）が申込みを受け付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会 事務局が受け付けます。

上記のアドレスに送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会事務局及び西鉄旅行（株）に申込書が届きます。

② 聴講料の振込

参加者の聴講料を次の銀行口座に振込んで下さい。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義（協会名等）の前に、開催回数の「696」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

| 区分 | 一般 (非会員) | 会員 | | |
|--------------------|-------------|---------|----------|---------|
| | | 正会員 | 特別会員 | 賛助会員 |
| 通常料金 | 18,800円 | 13,700円 | 13,700円 | 13,700円 |
| 開催県内に勤務 | 13,700円※3 | 2,100円 | 2,100円※2 | — |
| 開催県内の市町村に勤務※1 | 2,100円 | 0円 | — | — |
| 開催地区連合会管内の市町村に勤務※1 | 18,800円 | 2,100円 | — | — |
| 30歳未満 | 18,800円 | 2,100円 | — | — |
| 開催県内の学生 | 0円 | — | — | — |

※1 政令市職員は対象外です

※2 特別会員は開催県内に勤務又は在住の方が対象です

※3 非会員は国・県・政令市に勤務の方のみが対象です

※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

(参考)

③ 現場研修料の振込

「第696回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

3. 申込み締切日

令和5年9月6日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

4. 聴講の申込み内容の変更・取消

① 方法

申込み内容に変更又は取消が生じた場合、送付済の申込書に変更箇所がわかるように入力し、件名に「変更」又は「取消」と明記の上、2. の送付先アドレスに再送して下さい。電話での変更・取消は受付できません。

② 取消料について

取消日に応じて、下記の取消料が発生します。講習会終了後に所属協会等の指定口座へ、取消料及び振込手数料を差し引いた金額をご返金いたします。

なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消の場合は、取消日に関わらず全額（振込手数料は本会負担）をご返金いたします。

| 取 消 日 | 取 消 料 |
|----------------------|----------|
| 7日前（9月27日）～前日（10月3日） | 聴講料の 50% |
| 当 日（10月4日） | 聴講料の100% |

③ 現場研修の申込み内容の変更・取消

「第696回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

5. その他

- ・テキストは当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
- ・事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ（<http://www.zenken.com/>）もご覧ください。

6. 問合せ先

① 建設技術講習会

聴講の内容・申込み/現場研修の内容

（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎

TEL 03-3585-4546 E-MAIL kensyu@zenken.com

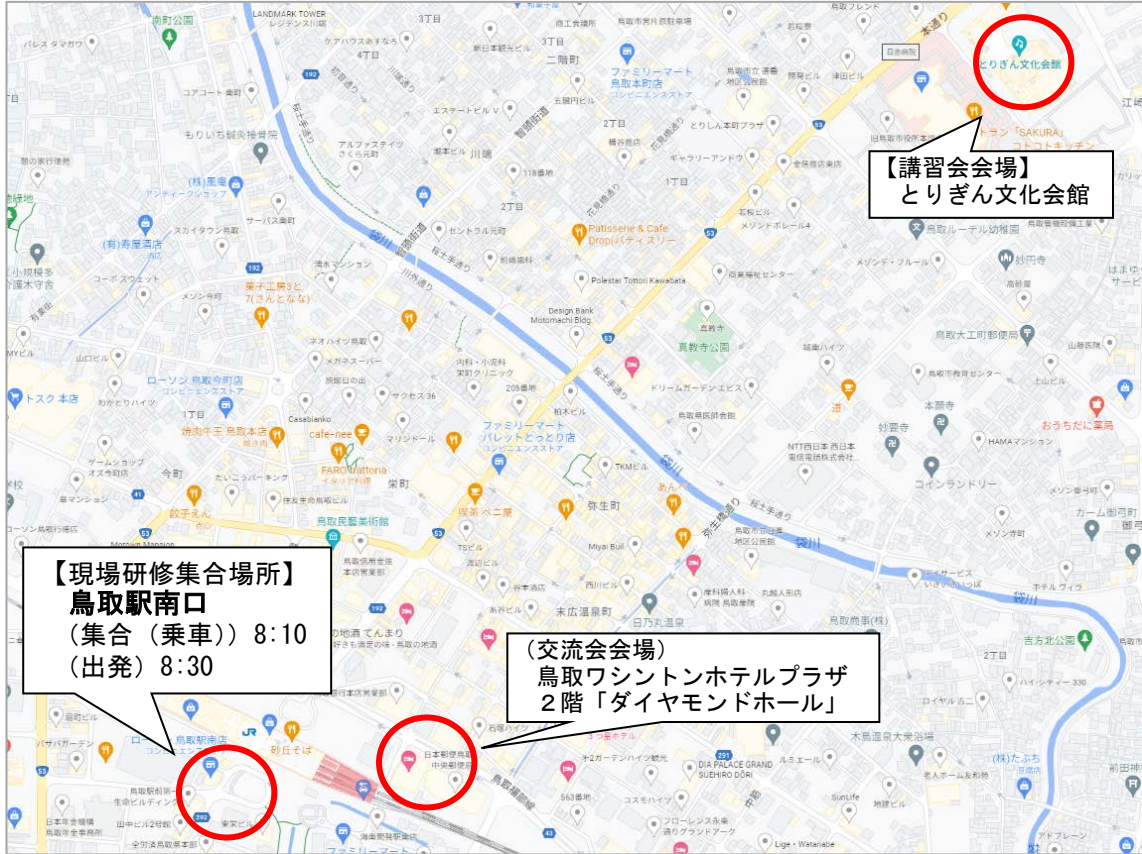
② 現場研修の申込み

「第696回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

③ 宿泊斡旋の申込み

「宿泊斡旋のご案内」に記載されています。

【講習会会場及び現場研修集合場所等 案内図】



第696回建設技術講習会【現場研修】の募集について

1. 日 程：

令和5年10月6日（金）8:30～16:20

集合（乗車）8:10～

鳥取駅南口（8:30）出発

- 史跡鳥取城跡大手登城路復元整備事業 [鳥取市]
- 鳥取イノベーション実証フィールド整備工事 [鳥取県]
- 昼食（鳥取市内）
- 国道9号北条道路北条高架橋第3・第4PC上部工事 [中国地整]
- JR倉吉駅（15:00）／鳥取空港（15:50）／JR鳥取駅（16:20）着後解散

※現場研修のみの参加はできません。

※上記行程は都合により変更となる場合があります。

2. 添 乗 員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員と西鉄旅行(株)添乗員が同行します。

3. 旅 行 代 金： 11,100円（税込）※昼食代1,430円（税込）含む
（現場研修料）

4. 申 込 方 法：

① 申込書の送付

申込書に必要事項を記入し、次のアドレス宛にメールで送付して下さい。

なお、申込金【下記②】については、受付確認のメール受信後から開催前日までの間にお振り込みをしていただくようお願いいたします。

※振り込み後、銀行振込の控え等を送付先アドレスに送付してください。

送付先アドレス nishitetsu@zenken.com （メールアドレスにご注意ください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、西鉄旅行（株）が申込みを受付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会事務局が受付けます。

上記のアドレスに送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会事務局及び西鉄旅行（株）に申込書が届きます。

② 旅行代金（現場研修料）の振込

参加者の旅行代金（現場研修料）を次の銀行口座に振込んで下さい。

振込口座：みずほ銀行 京橋支店 普通 1227472

口座名義：ニシテツリョコウ（カ

※必ず、お振込人名義（協会名等）の前に、開催回数の「696」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

5. 申 込 締 切 日：令和5年9月6日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

6. 取 消 料 :

| 取 消 日 | 取 消 料 |
|-------------|-------------|
| 10日前～8日前 | 現場研修料の 20% |
| 7日前～前々日 | 現場研修料の 30% |
| 前日 | 現場研修料の 40% |
| 当日 | 現場研修料の 50% |
| 無連絡不参加及び開始後 | 現場研修料の 100% |

7. 申込のお問合せ :

西鉄旅行（株）全建担当デスク Mail: zenken@nnr-g.com TEL 03-6742-0324

8. 視察内容のお問合せ :

（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
Mail: kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546

9. 旅行企画実施 :

西鉄旅行（株）東京団体支店 東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階
観光庁長官登録旅行業第579号 TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
（一社）日本旅行協会正会員 MAIL zenken@nnr-g.com

10. そ の 他 :

研修料の領収書は、入金を確認し研修終了後に送付いたします。視察資料は当日集合場所にて、参加証は終了後にお渡しいたします。

参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。

第696回建設技術講習会に参加の皆様へ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



(一社)全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、必要とされる感染防止措置を講じた上で、「参加者同士の交流会」を開催する予定です。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和5年10月4日(水) 18:00～19:30(予定)

場所：鳥取ワシントンホテルプラザ 2階「ダイヤモンドホール」

会費：2,000円
(受付時にお支払いいただきます)

- ※新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、開催を中止とする場合があります。
- ※参加希望人数によって、開催を中止とする場合があります。
- ※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。
- ※参加希望の方は、申込書の「交流会」欄に〇印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※服装は特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る
 - ①参加者の知見と人脈を広げる(名刺交換) ②意見交換・情報交換
 2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流 ②質疑応答など
- ※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

宿泊斡旋のご案内

- ① 宿泊斡旋：参加者には鳥取市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
- ② 宿泊予約申込み：別紙申込書に必要事項を記入しお申し込み下さい。
- ③ 申込み先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail nishitetsu@zenken.com
 申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
 申込み後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

- ④ 取り消しについて：

| | | |
|----------|----------|-----------------|
| 宿泊日の3日前～ | 宿泊日前日 | 宿泊当日 及び無連絡不泊 |
| 宿泊代金の20% | 宿泊代金の50% | 宿泊代金の100% |

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
 取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

- ⑤ 斡旋する宿舎名、宿泊料

令和5年10月3日～5日

(1泊朝食付、サービス料・消費税込み)

| 宿舎名・所在地・電話番号 | 部屋タイプ | 斡旋人数 | 宿泊代金 |
|--|-------|----------------|--------|
| ① 鳥取シティホテル 鳥取県鳥取市戎町471番地 Tel0857-27-6211 | シングル | (3日20人) 60人 | 8,800円 |
| ② 鳥取ワシントンホテルプラザ 鳥取県鳥取市東品治町102 Tel0857-27-8111 | シングル | (3日20人) 60人 | 9,500円 |

- ※申込み締切り後、参加者が決定次第、「宿泊案内」を送付します。
 ※ご希望のホテル番号(①～②)を申込書に記入してください。先着順で手配いたします。
 番号のご記入がない場合には、空室のホテルから手配いたします。
 ※喫煙ルームをご希望の方は、申込書に“喫”と記入してください。
 ※喫煙・禁煙ルームの数にはそれぞれ限りがある為、ご希望に添えない場合があります。

【幹旋ホテル案内図】

